

私流、車とオートバイの楽しみ方

自動車にしてもオートバイにしても、移動手段としての実用性はもちろん大切ですが、「モータースポーツ」ということばがあるように、楽しみの要素があります。むしろ、「いかに楽しんで乗れるか」が、車種を選択する決め手になるとも言えます。

1. 私と車

学生時代から昭和60年に故郷の甲府市へ帰ってしばらくの間は、実用的な国産車を乗り継いでいました。山梨では、日常の足として自家用車が必須なので、自分用と家内用に2台が必要です。当初は、車に特別思い入れがあった訳ではなかったので、国産車に特に不満もなく乗っていましたが、開業してから少し余裕ができると外車に興味がわいてきて、ボルボのセダンとクーペ（S60）を2台乗り継ぎ、その後は、アウディに替えて、現在のところ、TTクーペ（3.2クワトロ、Sライン）とA3スポーツバックに乗っています。私自身は、年間の走行距離が2,000km程度と少ないので、いわゆるエコカーには今のところ関心が少なく、馬力があって活発に動ける車に魅力を感じます。そういう意味で、TTクーペを気に入っています。V6・3200CCのエンジンの力強く心地よいエンジン音、圧倒的な加速力で胸がすく出足、アウディ独自の四輪駆動（クワトロ）も具合よく、高速道路を気持ちよく巡航できます。コンパクトですが、二人で旅行するには、ぴったりのサイズ。もう、型はやや古くなってきましたが、まだ2万kmちょっとの走行距離で、快調そのもの、まだまだ乗り続けたいです。

なお、往診用に一時期、「スマート」という二人乗りの外車に乗っていました（会報第16号に書いてあります）。とても楽しい車で、手放すのは惜しかったのですが、車イスを載せられる国産車に買い換えて、現在使っています。

2. 私とオートバイ

私のオートバイ歴については、すでに会報第17号、18号と書いてきました。オートバイ好きは父親譲りで、高校への通学用から始まって現在までずいぶんいろいろなオートバイに乗ってきました。正直言って、私にとって乗り物としては車よりもオートバイの方がずっと好きなんです。二輪車は、転倒したら怖いのはもちろんですが、「人馬一体」という感覚がなんとも気持ちいいのです。狭い道にもはいていけるので、車よりも行動範囲は広くなり、より自由度が高いです。風を受けますが、高速でなければ苦にならないし、山にはいって行ってフィトンチッドたっぷりの山の空気を吸い込みながら走行するのは、快適です。

車種としては、ヤマハ・マジスティ250が一番のお気に入りです。発売当初からモデルチェンジのたびに買い換えてきて、現在3代目。いつも2台は持っていたいと思い、イタリア製の「アプリリア・ペガソ650ストラーダ」にしばらく乗り、その後はヤマハの逆輸入車；「ナイトライダーXVS950A」に乗っています。

最近、大規模災害時の使用を考慮して、小型・軽快で燃費がよく、しかも少々悪路でも走れる車種が必要と思い、つい最近、ヤマハ・BW'S（ビーウィズ）というミニバイクを買いました。これは、太くてゴツイタイヤで、少々悪路は問題なく走れ、エンジンは50CCですが4サイクル・燃料噴射式で高性能エンジンです。万一の災害時には、

小回りがきき機動性のある移動手段として活用したいと思っています。

なお、一時期、往診用に三輪のオートバイ（ホンダ・ジャイロ、屋根付き）を使っていました。座席の後ろのボックスに往診カバンなど収納でき、狭い道にもはいついていけるし駐車場の心配もなくて、具合良く乗っていましたが、「恥ずかしいからやめてくれ」と再三家族から言われて、上記「スマート」に買い換えた経緯があります。

3. 最後に

私はすでに還暦をすぎましたが、車やオートバイにあと何年ぐらい乗れるだろうか、と考えることがあります。車はともかく、オートバイはあまり高齢までは乗れないだろう、いや、周りから止められてしまうだろう、と考えたりします。それならば、限られた時間にどの車・オートバイに乗っておくべきか、これは思案のしどころでしょう。人生の終盤を飾る車とオートバイ、あれこれ考え、悩み、しかし、むしろその過程を楽しんで過ごしたいものです。

なお、蛇足ですが、車好き・バイク好きの皆様なら、すでにご存知と思いますが、車についてはBS5で毎週水曜日の23時から「カーグラフィックTV」、オートバイについてはBS11で毎週火曜日の23時から「モトライズ」、というテレビ番組が放送されています。是非ご欄になって楽しんで下さい。感想や意見を話し合う機会が持てれば、幸いです。

（2013年10月）